

民謡熊本県大会で栄光のグランプリ！10月全国大会へ



菅朝美さん（27歳、三久保）は、12月6日、県立劇場で開催された平成21年度民謡民舞熊本県連合大会（主催日本民謡協会）で、全出場者の中で見事1位のグランプリを受賞し、今年10月、東京の両国国技館で行われる内閣総理大臣賞争奪選、民謡民舞連合会全国大会への出場を決めました。

菅さんは、これまでも平成19年に肥後民謡全国大会優勝など数々の大会で優勝

していますが、菅さんにとって今大会で優勝して両国国技館の舞台に立つのが念願だったということで、現在、唄う曲「おてもやん」を全国の人たちにどう伝えるか、感動してもらうかを考え練習されています。

菅さんは祖母と共通の趣味を持ちたいと19歳で民謡と三味線を始めました。民謡歴は長くない中での受賞には人一倍の努力があります。一緒に練習していた祖母も一昨年お亡くなりましたが、天国できっと応援されているでしょう。

「おてもやん」で全国一を目指し！頑張れ菅さん！



将来は民謡の先生をしたい、という朗らかな菅さん

数々を受賞！阿蘇の大地・人を育む土地改良区の取り組み 輝く

今年度、水土里ネット阿蘇（本田二男理事長）は、次の3つを受賞されました。

<21世紀土地改良区創造運動大賞>（全国の土地改良区から優れた団体を表彰）

小学生らが農業や自然の大切さを学ぶ「田んぼの学校」や、市内各種団体を構成する「阿蘇水土里自然環境推進協議会」を設立しクリーン作戦を展開するなど積極的に取り組み、地域住民とのふれあいによる「人づくり・ネットワークづくり」に努めたことが評価されました。



<第3回くまもと・みんなの川と海づくり県民運動賞>（川や海を守る啓発事業や保全活動に努めた団体を表彰）

川の環境を理解し、自発的に水環境保全の活動に取り組まれました。

<全国土地改良事業団体連合会長賞>

多年にわたり土地改良事業の推進に努め地域農業の発展に寄与した功績が認められ、阿蘇土地改良区事務局長中山安範氏が受賞されました。

子どもに夢を！特大ケーキをプレゼント



クリスマスの思い出にと、(有)お菓子の味幸（木下恭助代表）が、12月10日、阿蘇中央幼稚園の園児に、大きさ縦50×横110×高8cmもの生クリームケーキをプレゼントしました。木下氏のケーキの寄贈は今年で3年目で、社会奉仕としてこれまでも4つの保育園に寄贈されています。今年も園に250人分ある大きなケーキが届くと園児たちは歓声を上げ喜び、美味しいケーキを大いに楽しみました。